



パーソナリティ

こいのぼり……風薫る5月の空を泳ぐこいのぼりには、黄河をさかのぼって龍となる鯉（中国の伝説）にちなみ、困難を乗り越え立派な人になるようにとの親の願いが込められています。また、5月5日は「こどもの日」で「こどもの人格を重んじ、こどもの幸福をはかるとともに、母に感謝する日」として国民の祝日になっています。

最近、アメリカのドロシー・ロー・ノルトという家庭教育学者の作った詩が大きく話題になりました。皇太子浩宮様が誕生日の記者会見で紹介された「こども」という作品です。どのような経験がどのようなパーソナリティ（人格）を育てるか22行にまとめられています。パーソナリティを育てつつある子どもにとって、毎日の生活をともにする家族との関わりはその形成に大きな影響を及ぼします。ゴールデンウィークで外出されるご家族も多いと思いますが、お子さんと向き合っその子らしいパーソナリティはなにか見

つけてみましょう。

南児童館で職員の異動がありました。今年度のスタッフは次のとおりです。よろしくお願いいたします。

●西・南児童館  
館長 大澤 満

●西児童館  
厚生員 斎藤美智子

〃 香取 洋子

●南児童館  
厚生員 坂内 弥生

〃 藤倉みどり



マリンバ&ピアノ演奏会

3学期の終了した3月24日、南児童館で打楽器のマリンバとピアノによるコンサートを行いました。図書室を会場にしましたが、幼児・児童とお母さん約60名が音楽のひと時を楽しみました。

本格的なマリンバ曲、「トルコ行進曲」などのポピュラーな曲、

親しみのあるディズニーの曲などが演奏された1時間でした。目の前で演奏されるマリンバは迫力がありテンポも速く圧倒されました。聞きなれているピアノもこころなしか新鮮に聞こえました。

演奏の途中でマリンバの左右を逆にした演奏や、叩くスティックによって音の高低を変えることを説明したり、希望者にはマリンバを叩かせてくれたりと子どもたちには楽しい行事となりました。写真は希望者をジャンケンで選んでいる様子です。児童館の元気な春休みが始まりました。

5月の行事予定

- 西児童館
  - 幼児教室 6日(金)
  - 大綱取り大会 12日(木)
  - リム回しに挑戦 16日(月)
  - 幼児教室 20日(金)
  - おやつクラブA 26日(木)
  - ふしぎ発見 30日(月)
- 南児童館
  - ボーリング&輪投げ大会 9日(月)
  - 幼児教室 13日(金)
  - ふしぎ世界 16日(月)
  - 造形ギャラリー 23日(月)
  - 幼児教室 27日(金)

学校コーナー

「感動の卒業式」を新たな一歩として

五霞西小学校



3月18日、第34回卒業式が行われました。

児童数の少なさを生かして、全児童が参加して作り上げる卒業式です。呼びかけの中に在校生からの感謝の言葉や力一杯の合唱が混じり、明るくほほえましい式でした。

卒業生一人ひとりからの保護者への感謝の言葉でした。病気の時寝ずに看病してくれたこと、わがままな自分なのにいつも優しくしてくれたことに「ありがとうございます。」と感謝の心を表しました。

子どもの感謝の言葉を聴くお母さんの目には大粒の涙があふれていました。小学校を卒業する我が子の姿を見つめ、胸の内には数限りない思い出が走馬燈のように駆けめぐったことと思います。

そんなお母さんの思いが、感謝の手紙として学校に届けられました。その手紙は教職員はもとより、在校生全員に紹介されました。在校生は、自分たちの想いと努力が認められ、新たな

喜びを感じ取っていました。卒業式も、考えようによっては単なる通過儀礼です。しかし、卒業生もお家の方も、児童たちも職員も感動し、努力は報われるのだと実感できる教育の一つなのです。

学力の低下が大きく騒がれる中、17年度は全学年で国語・算数の少人数授業やTT授業に取り組んでいます。また、全校で「朝の読書」と帰りの会での「計算練習」を実施し、基礎学力の向上に取り組んでいます。

しかし、学力が付けばそれでよいとするものではありません。「知徳体」のバランスの取れた、「生きる力」を身につけた子どもを育てることが新しい教育だと考えます。

感動の卒業式に学力の向上と体力の向上をどう積み上げていくか。課題は山積みです。しかし、この子どもたちとなら、例え歩みは遅くとも、きつとたどり着けるのではと思います。新年度の新たな想いとして。